

LR5092 データコレクタ 操作ガイド

2011年2月 初版 Printed in Japan
LR5092A981-00 11-02H



HIOKI LR5092 データコレクタのご購入、
ありがとうございます。

本書は、本器を初めてお使いになる方のために、
基本的な操作方法を紹介しています。

本器を実際にご利用になる前には、必ず取扱説明書
をお読みください。

HIOKI

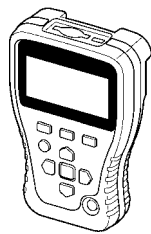
はじめに
お読みください

1 確認

梱包内容を確認しながら、
必要なものを用意します。

本体および付属品

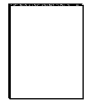
本体



PC アプリ (CD-R)
本器の設定をしたり、本器のデータ
をコンピュータへ転送したりする
ときに使用します。



**単 3 形アルカリ乾電池 (LR6)
2 本**



取扱説明書
詳しい操作方法を知りたいとき、
困ったときなどにご覧ください。



USB ケーブル
本器とコンピュータを接続して、
本器の設定をしたり、本器のデータ
をコンピュータへ転送したり
するときに使用します。
詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

3 接続

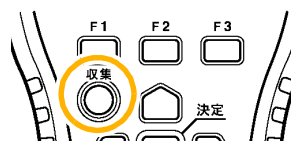
データミニを本器に接続します。



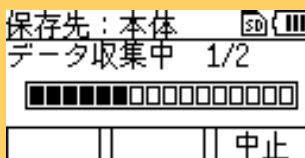
データミニの赤外線ポートと
本器の赤外線ポートを合わせ
てセットする。

■ 本器を使用する前に、測定前の点検を行います。
(詳細は取扱説明書を参照してください)

4 データ収集



収集キーを押す。



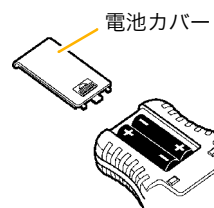
データ収集中は左の画面が表示
されます。

データ収集中に中止したいときは、
F3 キーを押すとトップ画面に戻
ります。

2 準備

電池を本体に取り付けて、
電源を入れます。

電池を取り付ける



- 1 本器背面の電池カバーをはずす。
- 2 イラストのように電池をはめる。
- 3 電池カバーを閉める。

■ + と - の向きに注意して、電池を取り付けてください。

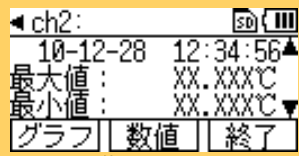
電源を入れる



POWER キーを押す。
(約 1 秒間長押し)

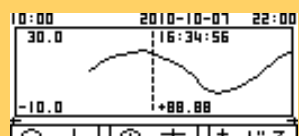
■ 使用後は、必ず電源を切ってください。

5 データを見る



収集が完了すると、収集されたデータが画面
に表示されます。

表示内容:
チャンネル、コメント、データ数、記録間隔、製造
番号、記録開始時刻、記録停止時刻、最大値、最
小値、平均値



F1 キーで波形グラフ表示、**F2** キーで数値
表示に切り替えられます。
(**F3** キーを押すとトップ画面に戻ります)



波形グラフ表示
F1 キーで波形圧縮、**F2** キーで波形拡大で
きます。上下で波形をスクロールできま
す。
(**F3** キーを押すと前の画面に戻ります)



数値表示
F1、**F2** キーでデータを間引きできます。
(**F3** キーを押すと前の画面に戻ります)

- データミニの測定を停止しなくても、データ収集できます。収集時点まで
のデータを収集します。
- 初期設定の場合、収集したデータは本体メモリに保存されます。

収集の他に こんなことができます



**データミニの設定をする、
記録・設定状態を確認する、
記録開始 / 停止を制御する**

LR5000「データミニ」シリーズの設定、記録開始 / 停止の制御がで
きます。(データミニから設定を受信することもできます)
また、データミニの記録・設定状態を確認できます。



データを管理する

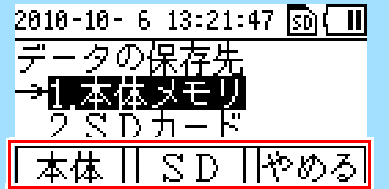
データのリスト表示、削除、SD メモリカードの初期化ができます。



セルフチェック

ファームウェア、LCD、キー、ブザー、SD メモリカードに異常がない
か確認できます。

基本のキー操作



1

上下キーでカーソルを移動して、
メニュー / 項目を選択する。

2

決定キー (決定キー) で実行する。
または **F** キーで F キーメニューを実行
する。

■ 詳しくは、取扱説明書をご参照ください。

キーの名前

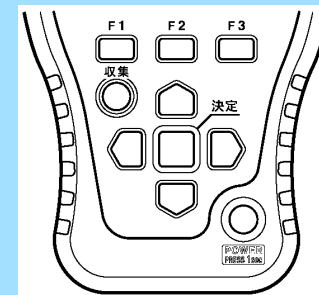
F1, F2, F3 キー
F キーメニューを実行します。

収集キー
記録データをデータミニから収集します。

決定キー
選択したメニューを実行します。

カーソルキー
カーソルを移動します。

POWER キー
長押し (約 1 秒間) で電源を入 / 切します。
約 1 分間何も操作しないと、自動的に電源を
切ります (オートパワーオフ)。



困ったときは

■ **POWER** キーを押しても画面が表示されない。
電池は入っていますか?
POWER キーを長押ししていますか?

- ・ 電池が正しく取り付けられているか確認してください。
- ・ POWER キーを 1 秒間押し続けてください。
- ・ 上記を実施しても画面が表示されない場合は、電源保護用素子が破損している
可能性があります。お客様による交換、および修理はできませんので、お
買上店か最寄りの営業所にご連絡ください。

■ **POWER** キーを押しても電源が切れない
USB ケーブルでコンピュータと接続されていませんか?
POWER キーを長押ししていますか?

- ・ USB ケーブルでコンピュータと接続されている場合、電源は切れません。
- ・ USB ケーブルを外すと POWER キーを押さなくても電源が切れます。
- ・ POWER キーを 1 秒間押し続けてください。

■ **POWER** キーを押していないのに電源が入る
POWER キーが押されっぱなしになっていませんか?
USB ケーブルでコンピュータと接続されていませんか?

- ・ POWER キーを確認してください。
- ・ USB ケーブルでコンピュータと接続すると POWER キーを押さなくても電
源が入ります。

■ **キー操作ができない**
いずれかのキーが押されたままになっていませんか?
操作キーを確認してください。

■ **データミニからデータを収集できない**
本器とデータミニを正しくセットしていませんか?
通信用の赤外線ポートが汚れたり、傷ついたりしていませんか?

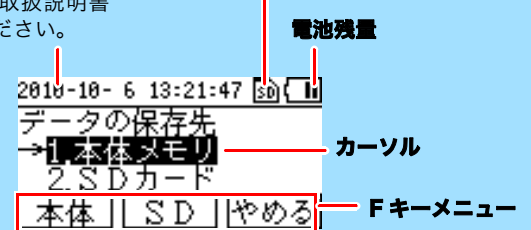
- ・ 正しくセットしてください。
- ・ 赤外線ポートを清掃してください。著しく傷がついている場合は、修理が必要
です。お買上店か最寄りの営業所にご連絡ください。

■ **電池がすぐ終わる**
ご購入時、本体に取り付けられていた電池をそのまま使用していませんか?
マンガン電池を使用していませんか?
新品の単 3 形アルカリ乾電池 (LR6) をご使用ください。

表示部

SD メモリカード表示
オプションの Z4001 SD メモリカード
2GB が挿入されているときに点灯します。

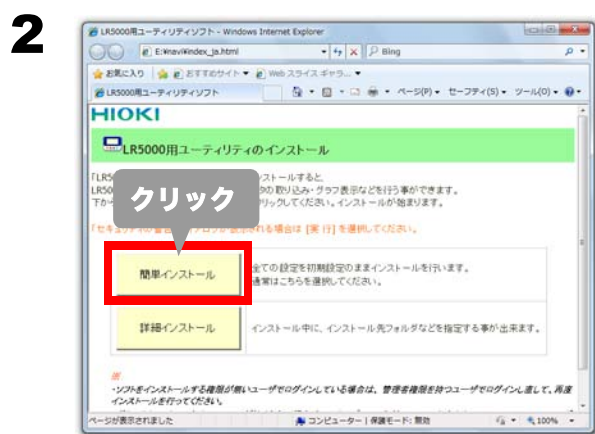
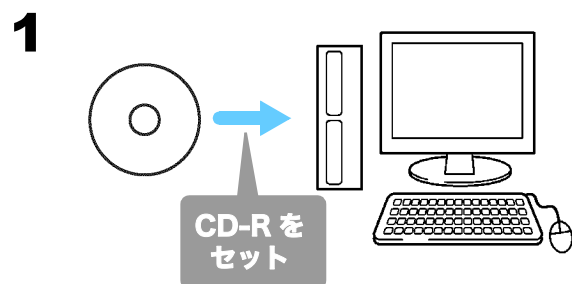
現在年月日
設定方法は取扱説明書
をご参照ください。



6 コンピュータにデータを取り込む、表示する

1 PC アプリをインストールする

用意するもの：付属の CD-R
(Windows XP の場合は、付属の USB ケーブル)



■ PC アプリ (LR5000 用ユーティリティソフト) の動作環境

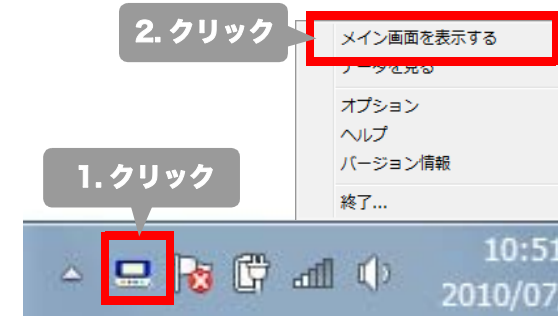
- ・ CPU 動作クロック 1 GHz 以上
- ・ メモリ 512 MB 以上
- ・ OS Windows XP: SP2 以上
Windows Vista: SP1 以上
Windows 7
- ・ ライブラリ .NET Framework 2.0/3.5
- ・ インタフェース USB
- ・ モニタ解像度 1024 × 768 ドット以上
- ・ ハードディスク 空き容量 30 MB 以上
(上記に加え、記録データの保存用に別途空き容量が必要です。 .NET Framework 2.0または3.5がインストールされていない場合は、別途約 500 MB)

■ PC アプリがインストールできないときは？

- ・ 上記の動作環境に適したコンピュータをご使用ください。
- ・ 取扱説明書の「PC アプリをインストールする」の項をよく読んで、再度インストールしてください。特に、次の事項に注意してください。
 1. 「administrator」などの管理者権限でログインする。
 2. インストールを開始する前に、コンピュータで起動しているすべてのアプリケーションを終了させる。

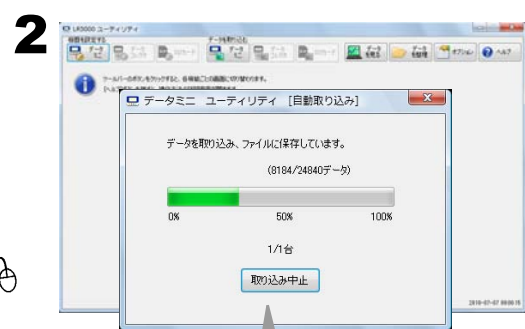
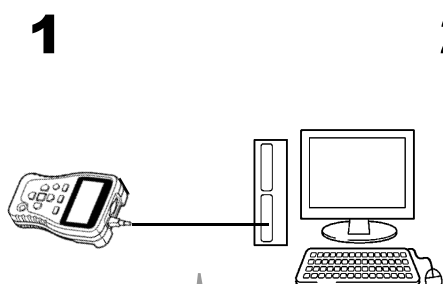
2 PC アプリを起動する

Windows の [スタート] メニューから、[プログラム]-[HIOKI]-[LR5000 用ユーティリティ]-[LR5000 ユーティリティ] を選択し、プログラムを起動する。
次回 Windows ログイン時からは、PC アプリが自動起動します。(タスクトレイにアイコンが表示されます)

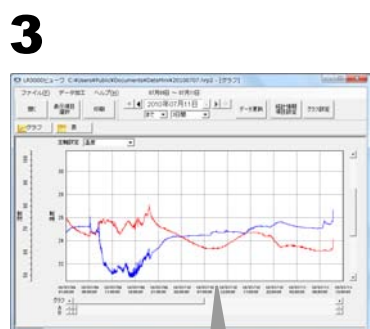


3 記録データをコンピュータへ取り込む (保存する)、グラフ表示する

用意するもの：付属の USB ケーブル



自動的に記録データの取り込み開始
ファイルに保存されます。



自動的にビューフが起動して、グラフを表示

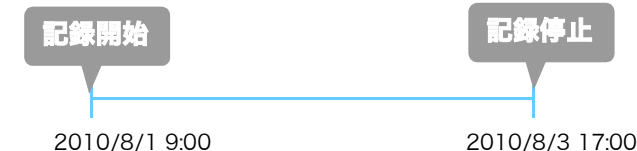
PC アプリを使えばこんなことができます

★ 詳細な設定をする

LR5000 「データミニ」シリーズ、LR5092 データコレクタの設定ができます。
本体ではできない詳細な設定も PC アプリでは可能です。

例えば...

- 記録開始 / 停止方法と時刻を設定して、予約した時刻で自動的に記録を開始 / 停止できます。(タイマ予約)



- 測定値を任意の値に調整して表示できます。(スケーリング)



- 上下限値を設定して、測定値が設定した範囲から外れると、本体画面に [AL] マーク (アラームマーク) を表示できます。(アラーム判定)

- 測定データにコメントを付けることができます。

★ 記録データを加工する

コンピュータへ取り込んだデータを加工することができます。

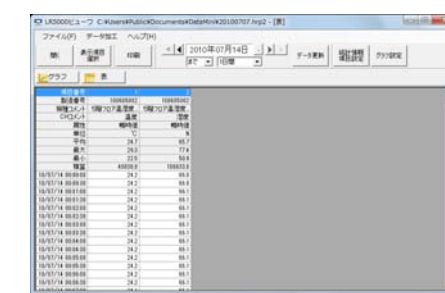
- 任意の値に調整して表示する (スケーリング)
- 簡易的に電力を計算する (クランプロガーの測定値を利用)
- 簡易的に電気料金を計算する (クランプロガーの測定値を利用)
- 稼働率を計算する
- 積算する
- 露点温度を計算する (温湿度ロガーの測定値を利用)

★ 記録データを整理する

コンピュータへ取り込んだデータを整理することができます。

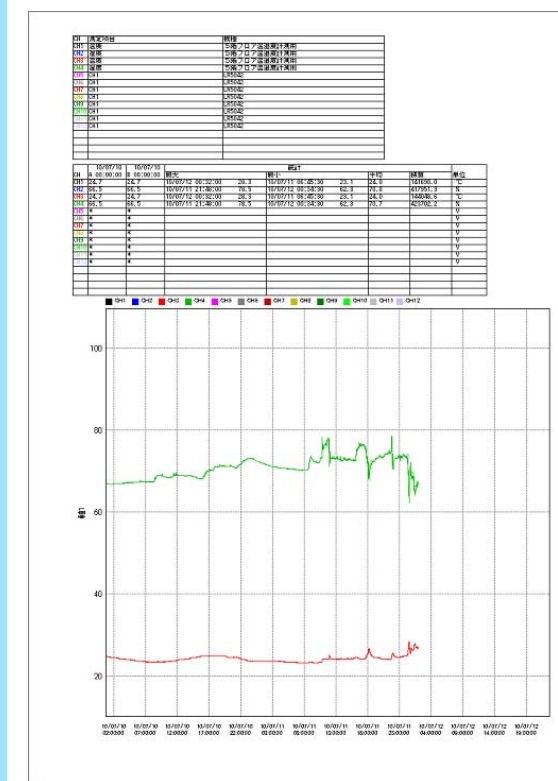
- コピー (ファイルをコピーして、別のフォルダに保存)
- 移動 (選択したファイルを、別のフォルダに移動)
- 削除 (選択したファイルを削除)
- 合成 (複数の記録ファイルの一つのデータに合成して、別のファイル名で保存)
- 切り出し (指定した期間のデータを切り出して、別のファイル名で保存)

★ 記録データを表で表示する



★ 記録データを印刷する

グラフの印刷例



■ 詳しくは、取扱説明書をご参照ください。